

# 会 議 要 旨

会 議 の 名 称	令和 7 年度第 2 回川越市社会福祉審議会地域福祉専門分科会
開 催 日 時	令和 8 年 1 月 2 7 日（火） 1 5 時 0 0 分から 1 6 時 4 0 分まで
開 催 場 所	ウェスタ川越 交流支援施設 1 階 多目的ホール
出席者（人数）	1 2 名
欠席者（人数）	6 名
事 務 局 職 員 職 氏 名	市 ：福祉部長、副部長兼福祉推進課長、福祉推進課職員 社協：事務局長、地域福祉課長、地域福祉課職員
傍 聴 希 望 者	なし
会 議 次 第	1 開 会 2 挨 拶 3 議 題 （1）地域福祉に関する取組活動報告 （2）次期地域福祉計画策定に係る基礎調査の結果について （3）次期地域福祉計画策定の方向性について 4 そ の 他 5 閉 会
配 布 資 料	<b>次第</b> 資料 1 地域福祉に関する取組活動報告資料（図書館コラボについて） 資料 2 地域福祉に関する取組活動報告資料〈社協〉 資料 3 川越市地域福祉に関するアンケート調査結果について（速報） 資料 4 川越市地域福祉に関するアンケート調査報告書（本編） 資料 5 川越市地域福祉に関するアンケート調査報告書（クロス集計・ 前回比較編） 資料 6 次期川越市地域福祉計画策定の方向性 資料 7 第六次川越市地域福祉活動計画策定の方向性〈社協〉 資料 8 地域福祉専門分科会 委員名簿（令和 8 年 1 月 1 6 日現在）

議 事 の 経 過	
<p>〈凡例〉</p> <p>■議長</p> <p>●委員</p> <p>⇒事務局</p>	<p><b>1 開 会</b></p> <p>○過半数の委員出席による会議成立の報告</p> <p>○会議資料の確認</p> <p>○報告事項（委員の変更）</p> <p><b>2 挨 拶（ほか含む）</b></p> <p>○佐藤会長挨拶</p> <p>○会議公開についての承認 ⇒ 異議なし</p> <p>○傍聴希望の確認 ⇒ なし</p> <p><b>3 議 題</b></p> <p>(1) 地域福祉に関する取組活動報告</p> <p>○資料１・資料２に基づき、事務局（市福祉推進課・社会福祉協議会）から説明。</p> <p>（質疑、意見等）</p> <p>●資料２の「ここえどマップ」について、どこで配布されているのか。</p> <p>⇒（社会福祉協議会）地域包括支援センター中央ひがし（主に小仙波町から岸町にかけて）の圏域内で、地域包括支援センター中央ひがしと社協が配布を行っている。マップは、川越市公式ホームページからダウンロード可能であるが、当該圏域を対象として行っているため、当該圏域以外の場所での配布は行っていない。</p> <p>●とてもよい取組だと思うが、市民目線では周知がされていないと思う。よい取組であれば圏域を広げたり、公共施設などの配布場所を増やしたりした方がよいと思う。</p> <p>■紙媒体でないとご覧になれない方もいれば、二次元コードからアクセスできる方もいるので、両側面から周知が図られるとより活用できると思う。とてもよい取組であると思うので、可能であれば検討いただきたいと思う。</p> <p>●資料１の図書館コラボについて、具体的にどのような反響があったのか伺いたい。</p>

⇒事務局	⇒(福祉推進課) 図書館へ展示期間終了後、関連図書の貸出しやどのような反響があったのか、情報提供を依頼している。
●委員	●今後、定期的な展示に加え、市内他の図書館での巡回展示について可能性の話があったが、図書館以外の連携の可能性も検討するべきだと思う。その点はどのように考えているか伺いたい。
⇒事務局	⇒(福祉推進課) 本企画の検討段階で、当課において市役所内の対応可能場所についての検討を行った結果、今回の実現につながった。
●委員	●非常によい取組であると思う。予算やスペースの制限などもあると思うが、再犯防止の推進や矯正施設の周知はまだまだ広がっていない部分があるため、今後も検討の上で進めてもらいたいと思う。
	(2)次期地域福祉計画策定に係る基礎調査の結果について ○資料3に基づき、事務局(福祉推進課)から説明。
	(質疑、意見等)
●委員	●1点目に資料3について、数字のみであると理解しづらいため、棒グラフを入れるなど「見える化」していただきたい。2点目に資料3からは、アンケート結果からどのようなことが起きているのか、川越市の地域福祉のあり方について、どのようなことが読み取れるのかが分からない。
■議長	■次期計画を考えていく際に、市民がどのような認識でどのような捉え方をしているのか、社協と行政、関係機関で基礎調査に基づいた分析を行っていただき、次期計画にどう照らし合わせていくのかということを基礎資料として出していくことが必要であると思う。
●委員	●第三次地域福祉計画の中で取組目標として福祉協力員を位置づけて、社協や民生委員とともに推進していく内容があったと思うが、前回より民生委員の認知度が下がってしまった結果は残念であった。また、結果では、活動を担っている人の負担が大きいとあるが、負担を軽くしながら広く認知度を上げていくにはどのようにしたらよいか、様々な目標を掲げたと思うが、振り返ることも必要であると思う。

<p>■議長</p>	<p>■住民意識の変化や数値が下がっているところをどのように改善していくのかという点は、計画に盛り込んでいく必要がある。また、社会全体では問題も色々変化しているため、その辺りを照らし合わせて新しいサービスにつなげることも必要である。関係者には認知されているが、市民の認知がだいぶ乏しく一般の方になかなか理解されていない点では、啓発的な取組をどのように行っていくのかが必要であるため、事務局で整理し、委員の皆様にも確認しながらよりよいものにしていただきたい。</p> <p>(3)次期地域福祉計画策定の方向性について</p> <p>○資料6に基づき、事務局（福祉推進課）から説明。</p> <p>○資料7に基づき、事務局（社協）から説明。</p> <p>(質疑、意見等)</p>
<p>●委員</p>	<p>●1点目に資料6の4ページ、6 策定体制の中に、内部検討会議とあるが、この会議に一般市民が参加することはあるのか伺いたい。</p> <p>2点目に地区社会福祉協議会はどのようなことを行っており、どのようなメッセージ等を出しているのか教えていただきたい。</p> <p>3点目は、PDCAサイクルの実行について、行政サービスは一度始まると止まらないため、回数を重ねるにつれD(実行)にあたるところから開始することが多く、C(チェック)が不十分である。そのためチェックから始めていただきたい。</p>
<p>●委員</p>	<p>●川越市の人口が減少していくとあるが、身の回りでは新しいマンションが次々と建設され、人口が増加するようにも思える。なぜ減少していくのか教えてほしい。</p>
<p>●委員</p>	<p>●資料6、2ページ(4) 現計画の中間評価の基本目標2の課題に、自治会加入率の減少とあるが、この要員としてはコロナ禍による影響が大きいと考えている。こうした背景から、地域のつながりを作るためには、自治会のあり方に基本を置いてもよいのではないか。自治会が中心に社協会費を集めていることもあり、自治会に加入していない人は社協会員にも加入していない人が多い。こうした状況も社協認知度の低さにつながる課題として、考えていただきたい。</p> <p>2点目として、資料6の3ページ、4計画の構成(1)から(4)について、まだ具体的な方向性が示されていないので、内部検</p>

<p>⇒事務局</p>	<p>討会議の中で基本的な方向性を示していただけたらと思う。</p> <p>3点目に社協について、地区社協会長連絡会を3月に予定されているかと思うが、これについて各地区への報告や説明がなされていない。実施予定なのであれば、早期に各地区への連絡を行う必要があると思う。</p> <p>⇒（福祉推進課）増野委員の1点目の質問について、庁内検討会議であるため、傍聴を含め市民や一般の方の参加は想定していない。</p> <p>太田委員の質問について、一部社会増がみられることもあるが、全体的には少子高齢化の流れが止まらないため、川越市だけでなく全国的に人口減少が進むと推計されている。</p> <p>藤崎委員の意見について、自治会のあり方や計画の具体的な方向性については、ご意見いただいたとおり、内部検討会議を含めて検討し、示していきたいと考えている。</p> <p>⇒（社協）増野委員の2点目の質問について、地区社協ごとに運用や活動内容は異なるが、例えば福原地区社協では、市民センターが事務局となっている。市民センター長を中心に地区社協の会長等と打ち合わせを行い、事業を実施いただいている。社協から福祉推進事業メニューというものを提案しており、その中から毎月、友愛訪問活動という高齢者や障害者の方を訪問し、困りごとや相談ごとを聞く取組や、配食会などを行っている。</p> <p>藤崎委員の3点目の意見について、反省として受け止めさせていただき、地区計画見直しの提案のお知らせについては、早期にご案内できるよう対応していきたい。</p> <p>■議長</p> <p>■地域福祉活動計画の住民にかかる部分は、地区社協を含めその活動と声を反映しながら、庁内会議やプロジェクトチームで共同して計画の素案を立てていただきたい。自治会や地区社協の方々とのやりとりは、早めにお知らせを行い、どのように年間スケジュールを立てていくのか確認していただけたらと思う。</p> <p>市民アンケートの結果をどのように分析し、指針などの視点に盛り込んでいくか、また、現計画や介護保険、障害者、県の地域福祉支援計画などとの兼ね合いが必要である。人口減少については空き家の問題もある。これから多死社会になっていき、亡くなる方も増えていくので、全国的に人口が減少していく点も踏まえ、計画の中に反映していくことも必要になる。地域共生社会のあり方検討会議では、次期法改正に向けた色々な方針が</p>
-------------	---

<p>⇒事務局</p> <p>■議長</p>	<p>でている。それらの動向もしっかり踏まえて反映していただきたい。次回まで少し期間が空くため整理していただき、疑問を解消し次期計画につなげていけるよう準備していただきたい。</p> <p><b>4 その他</b></p> <p>⇒（福祉推進課）来年度は策定年度となるため、開催日数が増えるが引き続きご協力頂きたい。また、次回は4月中旬から5月の連休明けまでに社会福祉審議会全体会、その後に分科会を予定している。通知等については、日程が決まり次第送付する。</p> <p>■全ての議事を終えたので、議長の職を解かせていただく。 みなさまのご協力に感謝する。</p> <p><b>5 閉会</b></p> <p style="text-align: right;">〔16時40分終了〕</p>
------------------------	--